

時の視点

直納部がかかえる現況と感想

東京都製紙原料協同組合

直納部部長 赤染 清康

直納部長を拝命してから二期二年が過ぎようとしています。その間、新進気鋭の上田副部長、ベテランで、かつ理論派の小林副部長始め、諸先輩方に支えられ、どうにか務めて来れました。昨年の中旬頃迄の一年半は古紙市況も順調に推移し、国際相場の上昇に連れて国内メーカーも価格を上げてくれると云う、直納部としてはさほどの困難もなく、各会社仕事も終えることが出来ました。

しかしながら、米国発の金融危機に端を発した世界同時不況が、それまで我が世の春を謳歌していた資源業界にも襲いかかり、それ迄二年半程続いた資源バブルも終焉を迎えたどころか、約十年前の大余剰時の相場をも割り込む底辺の市況となりました。またしても問屋としては需給調整の為、赤字出血輸出をせざるをえない状況に陥っています。

前回の大余剰は、中国の製紙産業が急成長し、需給が急激に拡大した為に解消し、市況も好転した訳ですが、それでも二年程かかりました。

今回の古紙市況も、百年に一度の全世界全産業の不況、物を造っても売れないデフレ傾向が続く中、そう簡単に短期間に好転するとは思われません。三月の決算期が過ぎ春になれば、ほんの少し変化の兆しは見えるかも知れませんが、その先は不透明で分かりません。世界経済の回復、BRICSの経済成長に頼むしかなく、おそらく一～二年はかかるでしょう。

古紙業界としては、資源バブルの夢は捨て、過去の原点に戻り現在の国内メーカー価格及び輸出価格を軸に考え、その相場で集荷直納とも生きて行く覚悟を決め、何とか利益の出る古紙再資源化のシステムを構築するしかありません。

言うことはたやすいですが、この不景気の中で、発元元への逆有償化は非常に困難な事ですし、メーカーの製品価格も下落しています。この困難を乗り越えるのは、やはり集直一体と云う言葉の再認識ではないでしょうか。集荷、直納ともに頑張りましょう

家庭紙古紙の使用変化と

今後の発生状況による

市況の変化について

東京都製紙原料協同組合

直納部副部長 小林 健二

従来は、洋紙メーカー、板紙メーカー、特更メーカー、家庭紙メーカーの使用古紙は各業種メーカーによりまして振り分けされておりました。

この古紙はこのメーカー向けとしまして梱包され出荷されていきました。各板紙メーカー及び白板メーカーの古紙は基本的変化はありませんが、ここ数年来からは特更メーカーで使用されています切付、特切等の古紙が洋紙板紙にも使用されまして新聞、残本の代替古紙として使用され数量的にも増加しつつある現状です。

本題の家庭紙古紙も洋紙メーカーの増産によります古紙不足の結果、家庭紙古紙がターゲットとして検討されテストの結果、使用する事に問題ないとの見解でスタートしました。その結果家庭紙古紙の発生が鈍化したままの現状で、回復の兆しもなくタイト感が強

くなりその結果家庭紙古紙価格を上昇させる要因となりました。

しかしながら昨年米国発の金融危機が早いスピードで世界中が不況に見舞われまして日本も各業界の製造業も自動車、家電等大きなダメージを受けてしまっています。製紙業界も、例外ではなく大手製紙会社も大幅な減産を継続中です。

この結果昨年から家庭紙古紙も他の古紙と同様、発生は下落したまま現在に至っているのに拘わらず、昨年12月から4ヶ月連続価格の下げが実施されました。

では新年度上半期以降古紙の発生回復が期待出来るか否かを考えますと、市況悪化の影響で洋紙メーカーの販売不振によります製品の出荷減、又国内全般の不況によります

印刷会社、製本会社の倒産や仕量の減少に伴う稼働日の縮小によります古紙の発生は下降気味に推移し増量の期待は困難ではないかと思われれます。

したがいまして、洋紙メーカーの生産回復(時期?)次第ではタイト感の強い市況になる可能性が出て来ると考えられます。

古紙業界の現況と

問題点について

東京都製紙原料協同組合

直納部副部長 上田 晴健

昨年の10月以降、古紙業界はかつてないほどの需要減退に直面しております。昨年当初は大手メーカーの設備増強の話題に沸き更なる需要増を夢見ていました。昨秋に米国発の「サブプライムローン」に端を発した世界不況(パブル崩壊といつても良いですが)により状況は一変いたしました。10年ちよつと前、古紙業界も国内パブル崩壊後の不況に大変苦労したのを覚えております。当時、出血輸出により市況の安定を図り、また製紙メーカーの古紙使用増のおかげもあつて何とか難局を乗り切ることができました。今回の古紙不況の構図はちよつと違うのではないのでしょうか?前回の古紙不況は日本国内のみの不況。今回は世界同時不況となっております。日本国内はもとより世界中に古紙が余剰するという問題です。余剰回復には相当な時間がかかるように思われれます。

古紙のマーケットはあくまで経済原則に則る形で推移しております。急速な(紙製品需

要減による)古紙需要減のため、古紙価格も急落しております。需要減による古紙価格の下落については古紙業界サイドも一定の理解が必要です。しかしここで問題になるのは当組合員が扱っている産業古紙の回収システムの問題です。回収古紙につきましてはいくらかの補助金(行政回収含む)が投入されております。こと産業古紙については基本的に補助金の類がありません。回収経費が古紙代金を上回った場合、補填できる術は逆有償という方法になります。これ以上の古紙価格下落は産業古紙の回収システムの崩壊を意味するところとなります。一方、古紙の需要は本来的にはチップから生産するパルプとの競争になります。この3年間ほど古紙はじり高となつて結果的にパルプとのコスト競争に勝てなくなつてきました。今回の古紙価格下落をふまえて、古紙回収システムの崩壊を防ぐために製紙メーカーサイドにもこの回収システムの实情に目を向けていただき、且つ我々古紙業界サイドもより一層の集直一体のコスト競争力を身につけこの難局を乗り切り切りたいものです。

時の話題

静岡県紙業協会家庭紙部会との

懇談会

〔平成21年2月23日（月）午後2時30分〕
於）富士工業技術支援センター

出席者： 静岡県紙業協会家庭紙部会28名
（内、家庭紙メーカー19名）

静岡県製紙原料商業組合 7名
東京都製紙原料協同組合 11名

三団体代表挨拶

イデシギョー株（株） 井出代表取締役会長

〔静岡県紙業協会家庭紙部会〕

パルプが安くなつておりテッシュペーパーの安売り店が目立ってきた。1年以上にわたり価格が変化してきたテッシュペーパーが下がつてしまうと非常に困る状況になる。まだ関東では段ボール、ポリ袋等が高いので何とか製品価格を維持できている。原料の価格が下がると、製品価格に影響が出るので何とかできないかと考えている。

近藤理事長 〔東京都製紙原料協同組合〕

昨年末より大きな価格変動の津波にあり、現在も水の中であえいでいる状態が続いています。家庭紙原料の急激な値下げが続く一方、原紙価格が下がっていない状況なので、我々も仕入れ先、印刷・製本業界での仕入調整が非常に難航しています。

全原連レベルでも現在、古紙の品質についての様々な問題に取り組んでいるところであります。不景気で発生が減少している中、私たちも大変厳しい境遇にあります。製品事情につきましても大変厳しい状況にあると聞いていますが、古紙原料につきましても需給だけでなく政策的な価格対策を検討して頂きたいと思っています。

佐野理事長 〔静岡県製紙原料商業組合〕

かつてない古紙の価格変動が続いている。洋紙メーカーの減産により、春以降には相当、発生が落ちていくのかと思っております。古紙については需給だけで見るとはなく、古紙の価格に関しても慎重にも慎重をききしてほしいと願っております。もう少し長期に渡った高品質の価格対応を考える場が生まれればと思っております。

古紙全般の市況について

赤染直納部長

〔東京都製紙原料協同組合〕

洋紙の減産が続いており価格も下がっている。段原紙に関しても1月～2月に減産強化しているが、減産しても在庫が減らない状況にある。輸出が裾物3品とも暴落した。中国の旧正月が明けても状況はほとんど変わらない。売り先もなく価格も変わらない。東京の原料問屋の在庫率は30%、静岡は60～70%である。仕入価格も1月～2月で一段と下がってきている。4月以降がどうなっていくのかわからない状態である。

家庭紙原料について

小林直納部副部長

〔東京都製紙原料協同組合〕

上物古紙は昨年以降、古紙の発生が低迷している。産業系は15～20%の発生減。オフイス系は10～15%の発生減。今後も古紙の発生は下降きみと予想される。洋紙メーカーの減産の影響が強い。当組合の上物古紙の在庫状況は、昨年10月と比べて11%と在庫が多く

なってきた。荷動きが悪いため在庫が多
く昨年12月と比べると15%、今年1月と比
べると18%とかなりの在庫量となっている。

昨年末から4回連続の家庭紙の価格変化に
より、集荷の動きが混沌としている。輸出価
格も悪いため、上物の一部の価格が下がる
と、行き場がなくなり雑誌化することになっ
てしまったため、良品質の古紙が作りにく
くなる。古紙もこちらへんで歯止めがかか
るといいのだが。

オフィス古紙について

高橋委員

〔東京都製紙原料協同組合〕

東京23区の紙ゴミの発生状況は、平成18
年度が3万3千トン、平成19年度が3万2千
トンであった。前年は3.3%減少している。
平成2年から平成12年まで減少し、平成13
年で若干の増加。平成14年から引き続き減
少している状況。オフィス系・産業系も減
少の傾向にある。

集荷関係より

松井副理事長

〔東京都製紙原料協同組合〕

発生現場から発生元へ支払う代金が0円
となると逆有償になってしまう。逆有償にな
ると製本・印刷関係は不況のため受け入れ
てくれない。マイナスや0円の単価になっ
た場合、集荷では選別に必要なコストが
なくなり、結果的に無選別の古紙となる
方向へ向かってしまう。集荷では古紙を
ゴミとして処理したくない。

宮崎集荷部長

〔東京都製紙原料協同組合〕

集荷業者は仕事を1〜2名で行っている
ところがほとんどである。ここところの古
紙原料の価格修正に戸惑っている。製本・
印刷の発生が減少しており、取扱の方も
減少している。逆有償では取りにくい状
況である。

静岡の発生状況について

〔静岡県製紙原料商業組合〕

不景気に直面し、製紙メーカーの減産
や製本・印刷業界にも影響を及ぼしてい
る。新聞のチラシも昨年末から減少して
おり、上物古

紙の発生も減少している。今後も発生減が
続き、良くて現状維持ではないかと思われ
る。

家庭紙メーカーからの現状と意見

〔静岡県紙業協会家庭紙部会〕

家庭紙原料を円滑に取れるようにしてい
きたい。原料が海外に流れ、海外からの輸
入品が増えてくると日本の製品が売れな
くなる。今は原料価格の調整点にあるの
ではないか。

家庭紙製品は、生活必需品なので作る
量は決まっています。生産量は変わらない。
家庭紙原料として古紙を年に約100万ト
ン使用している。

輸出等の外部の状況により価格が変化
している。
国内メーカー主体の原料の安定供給と
品質の維持・安定化が重要である。

その他

- ・東京協組からの「要望書」について
- ・全原連からのリサイクルシステム維持へ
のご支援のお願いについて
- ・洋紙メーカー、家庭紙メーカー、原料
メーカーの三つの需要について

第6回 合同新年会

広報部副部長 高橋 宏明

平成21年1月17日(土)当組合の第6回目となる合同新年会を日暮里駅前「ホテルラングウッド」にて開催いたしました。



今年の参加者人数は114名の出席となりました。司会は坂田城南支部長により午後6時に開演され、近藤勝理事長、またご来賓代表として栗原正雄全連理事長のご挨拶を頂きました。続いて深田和利関東商組理事長に乾杯のご発声を賜り、宴会の始まりです。
しばらくの自由歓談があり、ほどよく、お酒がまわってきた頃にお待ちかねの支部対抗カラオケ歌合戦の始まりです。



青年部の司会進行により、各支部代表の方のご自慢のノドを披露して頂きました。また、各支部のテーブルからも声援があり盛り上がりつつあるようでした。

宴会もカラオケも最高潮となってきましたが、畑俊一東り協会会長の中締めのご発声があり、脇山手支部長の挨拶により閉会となりました。



新年会開催にあたり、事業部、各支部長お手伝い頂いた皆様には大変ご苦勞様でした。

東京返本加工協同組合

新年会開催

事務局

2009年1月27日(火) 上野・精養軒

「銀杏」の間において、東京返本加工協同組合 平成21年新年会が、開催された。

当日は、出版共同流通株式会社・日本出版販売株式会社・栗田出版販売株式会社の幹部の方々、日頃業務及びいろいろな面でお世話になっていきます会計事務所・社会保険労務士の皆々様、当組合・上部団体 東京都製紙原料協同組合 理事長並びに専務理事・組合員・職員を合わせ総勢60名の方々にご出席いただき、盛大に開催された。

式の冒頭、主催者を代表して工藤理事長があいさつに立ち、理事長就任早々より世界経済の金融危機をスタートに製紙業界・出版業界は未曾有の冬の時代を向かえる状況となり、組合員一団となつてこの難局をのりきつていきたいとの決意表明が述べられ、続いてご来賓を代表して高見吉弘 日本出版販売株式会社 専務取締役・出版共同流通株式会社 代表取締役社長様から厳しい時代こそ、知



恵を絞り契機をチャンスに切り替える努力が必要との挨拶をいただきました。
 続いて東京製紙原料協同組合 理事長 近藤 勝様より組合は昨年60周年記念行事を行い、70周年に向け踏み出したとたんに先が見えない試練の年となり、業界あげてみんなでのり切っていきたいと工藤理事長同様に強い決意表明が述べられました。



高田誠 出版共同流通株式会社 専務取締役様の乾杯により、懇親会が和気藹々の中、なごやかにスタート致しました。

恒例の初参加のゲスト諸氏の自己紹介をかねたカラオケ披露では、7名の方々に自慢の喉を披露していただきました。出版共同流通(株) 宗像課長の「北の漁場」では、日販 雑誌部・長田課長の飛び入り参加もあり、両課長のデュエットで場が最高潮となり、福引抽選会へと移りました。

福引抽選会では、当選くじが読み上げられるたびに歓声があがり、精養軒様から寄付していただきました「ペア食事券」の当たり券では、工藤理事長が引当て、辞退し、前理事長 藤井相談役が引当て、辞退し、関連会社 狩野社長が引当て、辞退し、大歓声の中だれが引き当てるか出席者一同が注目するなか、毎会 写真撮影をして頂いています大柴組合員が見事 引き当てる一幕もあり、会は最高潮の中、齋藤副理事長の中締め挨拶をもって19時20分過ぎ終宴となりました。お忙しい中、ご出席を賜りました皆様、誠にありがとうございました。皆様のご協力に感謝申し上げます。



全原連新年会を開催

広報部部长 清水弘允

恒例の全原連新年会が、去る1月23日(金)浅草ビューホテルにて開催された。例年通り全国から傘下単組の理事長はじめ多くのメンバーが参加した。

矢倉副理事長の開会の辞、栗原理事長の挨拶に続き、来賓として経産省生活用品課の進藤課長、日本製紙連合会の羽山理事長、河村衆議院議員、安井衆議院議員にご祝辞を頂き、古紙再生促進センターの堀川理事長の乾杯の音頭で会食に移った。

昨年末からの景気の悪化を反映して、皆さん厳しい見通しを述べられる一方で、ピンチをチャンスにするいい機会ととらえ、大いに攻めて行きたいと言う前向きな発言も聞かえてきた。関東商組の深田理事長が中締め、中部協組の石川理事長が閉会の辞を述べて、今年の健闘を誓い新年会を終了した。

集荷部新年会を開催

集荷部部长 宮崎 勝保

湯島の江知勝にて正副理事長はじめ直納部の方々に出席して頂き平成21年度の新年会を開催いたしました。

集荷委員会の参加者が少なく厳しい会となりました。



しかし、会議の中では古紙価格の下落、またそれに対する対策のために静岡家庭紙メーカーに対し要望書を提出した話などが理事長や広報部長から報告がありました。又2月23日に行う三団体会議に集荷の方々もぜひ参加して下さいとの要請もありました。

参加した皆さまは、メーカー側の話に期待をかけながら直納部長の乾杯で新年会が始まりました。一時期の価格問題を忘れ、楽しい時間を過ごしました。最後に、松井副理事長の中メにて会が終了致しました。

古紙リサイクルアドバイザーの講習会開催

講習会開催

事務局 夏目 茂

1月28日(水)、2月5日(木)、2月20日(金)と3回にわたり古紙リサイクルアドバイザーの講習会が組合会議室にて開催されました。

今回は各事業所から管理責任者1名の方にご参加いただきました。現在、当組合の古紙リサイクルアドバイザーは175名おりますが、その約半数となる82名の方が3日間受講されました。

全原連の経営革新委員でもある高山総務部長が司会、進行され、毎回、近藤理事長から冒頭の挨拶をいただきました。

全国の全原連の講習会と統一をはかるため、DVDを使用しての講習内容となりました。画面では瀧本経営革新委員長が古紙品質管理手順書にもとづき説明をしました。古紙標準品質及び品種仕様、古紙リサイクルアドバイザーの役割、古紙品質情報の収集・連絡等の説明の後、特に古紙品質管理日報を毎日必ず記載するよう強調して講習が終わりました。

尚、現在、古紙リサイクルアドバイザーの認定を受け受講がまだの方については今年の5月～7月の間で第2回の講習会を考えております。後日、日程等についてのご案内を組合事務局からお送りする予定でおります。



支部便り

千代田支部 新年会開催

千代田支部長 近藤 正彦

恒例の支部新年会は、去る1月20日（火）都民銀行神田支店8階にて開催しました。たまたま前日支部員の北村佑正商店の社長が逝去されたのですが予定通り出席14名で楽しく一夜を過ごしました。



荒川支部 新年会開催

荒川支部長 久保田貞行

荒川支部新年会を根岸「宮川」にて開催し、20名の出席を頂きました。

昨年よりの金融危機による実体経済への影響が、我が業界にも急激に襲ってまいりまして、皆いつまで続くのだろうと困惑している状態ですが、宴は2時間半位にも亘り、和気あいあいと過ごせました。



城南支部 新年会紀行

理事 坂田 秀一郎

栗原全原連理事長、大久保社長からも市況のお話等して頂き、大変有意義な新年会となりました。

場所 栃木県日光市 日光温泉郷・川治温泉
湯けむりの里「柏屋」 2月7～8日（土・日）
参加企業 幹事会社（有）福島商店、
（有）後藤商店（2社）
（有）坂田亮作商店、（株）井出紙業、（株）中田、
（株）梶谷商事、（株）坂田紙業、（株）平松
商店、（有）舟戸寿男商店、（株）共益・商会、
石井商店（9社）

快晴の両日、城南支部恒例行事、新年会を栃木県日光温泉郷、老舗旅館、川治温泉、湯けむりの里「柏屋」で開催しました。参加企業は9社、計14名であった。

当日東武浅草駅に午後1時半集合。車内は笑い声の絶えない楽しい会となりました。幹

事さんや皆様の御協力により、退屈なぞ忘れてアツと云う間に「柏屋」へ到着。早速大風呂につかり、オゾン一杯の露天風呂で日頃の疲れを癒す。

6時からの祝宴はコンパニオンが花を添えて、夜の更けるのを忘れさせていつまでも続きました。日頃の苦勞などこ吹く風か、盛況裡の中に閉会となりました。翌朝は「阿弥陀くじ」で運勢を占い「柏屋」を後に迄は順調に行きましたが、鬼怒川迄の帰路、暫くして強風の為線路上に倒木との報あり。途中駅にて上下間完全ストップ。あれやこれやと不安の中、約1時間20分の足止め。乗客は予定通り行かず困惑の程。このハプニング駅員も当惑しきり。私達も列車から降ろされたり乗せられたりバスへの切替運行をすとか、徒歩で鬼怒川駅へ行く団体とか、混乱が続く。こうした突然のハプニングに駅員の咄嗟の狼狽振りを見て、自分だったらどうするだろうか何て思ったり、お神酒も手伝って捲し立てる乗客にどう対処すればいいのか。興奮している乗客に対する接客態度を見てどうすれば適切な判断で対処するのが良いのか説明の難しさを知る機会でもあった。私共の商売の価

格変動の激しさからの説明をお得意様にすることを思い浮かべたり、比較したり見比べたり、大変勉強になった旅行会であった。



江墨支部 新年会開催

江墨支部部長 松井 隆宏

江墨支部新年会を2月12日に開催いたしました。お客様として近藤理事長に出席していただきました。恒例により婦人同伴でコンパニオンさんも5名入り賑やかな時を過ごしました。ご婦人方には1年間の感謝をこめて一人一人にお年玉を差し上げました。



組合員の広場

クエとフグ

広報部副部長 脇 克美

この正月と成人式の連休を利用して和歌山と山口へ旅行してきました。和歌山へは家族と共に熊野古道と熊野本宮、速玉、那智の三社詣で（三社を一度でおまいりすることで利益が増すそうです）が目的でしたが、私の一番の楽しみは初めて食べるクエ料理です。クエとはアラ科の魚（九州ではアラともいいます）ですが幻の魚ともいわれ、いかつい顔とごっつい姿に似合わず身は美しい純白です。大きいものになると30kgを超えるものもあるそうです。新幹線から乗り継いでいよいよ南紀白浜に到着です。温泉につかりいよいよクエのフルコースです。刺身、唐揚げ、旨煮、鍋等が次々に出される豪華版でした。大物天然クエは鍋に入れて煮上がると身がきれいに割れ口のなかに後味の良いコクが広がり、また料理によって味わいが異なる奥の深い魚でした。締めのおじやがまた絶品でした。翌日、

大阪在住の弟一家と落ち合い車で熊野を巡ってきましたが、山あり階段ありの結構な修行をしてきました。

1月11、12日の連休は山口出身の友人の案内で5人グループで萩、秋吉台、青海島、下関等を観光タクシードで巡ってきました。日本海側は波も荒く小雪もまじる厳しい寒さでしたが、瀬戸内海側は穏やかに晴れ気持ちの良い天気でした。萩に宿をとり、夕食にもフグの小鍋をいただきましたが、何といっても印象に残っているのは翌日昼食に食べたフグのコース料理です。店は壇の浦にありテレビでもよく紹介されている「春帆桜」でしたが、この店は伊藤博文も通ったという歴史のある店で天然のトラフク（山口ではフクⅡ福と呼びにもらない）をつかいてっさ、唐揚げ、ちり鍋とメニューは普通ですが、いつも養殖のフグばかり食べている私には味の差は歴然で身皮の歯ざわりの違いには驚きました。ヒレ酒とともに十二分に堪能しました。

100年に一度の不景気という時になんともノー天気な旅行をしてきた私ですが、おいしい食事をして英気を養ったんだと考えてこの商況を乗り切り、もう一度でも二度でもクエとフグを堪能したいと思っっている私です。

支部スケジュール

〔千代田支部〕

支部会 4月6日（月） 菜の家
役員会 4月6日（月）（株）庄司
総会 4月7日（火） 菜の家
支部会 5月8日（金） 菜の家

〔中央支部〕

支部会 4月13日（月） 場所未定
支部会 5月15日（金） 場所未定

〔文京支部〕

総会 4月8日（水） 大塚 寿し常
支部会 5月8日（金） 場所未定

〔台東支部〕

支部会 3月28日（土） 組合会議室
総会 5月16日（土） 場所未定

〔荒川支部〕

総会 4月11日（土） 箱根湯本河鹿荘

〔足立支部〕

支部会 4月11日(土) 北千住
支部ゴルフコンペ 4月21日(火)

〔山手支部〕

総会 4月18日(土) 鮎やなぎ
支部会 5月19日(火) 鮎やなぎ

〔城南支部〕

総会 5月16日(土) 田町「牡丹」

〔江墨支部〕

支部会 4月20日(月) 吉野鮎
支部会 5月22日(金) 吉野鮎

〔城北支部〕

総会 4月18日(土) 熱海

※第53回 通常総会

平成21年5月20日(水)

上野 精養軒にて

お知らせ

〔4月会議・催事予定〕

4月2日(木) 東印工組との懇談会

(pm 4:30) 日本印刷会館

参加者(正副理事長・直納正
副部長・集荷正副部長・皆川
理事・事務局)

4月3日(金) 常任理事会 (pm 2:30)

理事会 (pm 4:00)

組合会議室

4月9日(木) 清風会ゴルフコンペ

若洲ゴルフリンクス

8時42分インスタート

4月14日(火) 総会資料検討会及び

常任理事会 (pm 4:00)

組合会議室

4月16日(木) 会計監査 (pm 4:00)

組合会議室

参加者(監事・正副理事長・会
計理事・総務部長・事務局)

4月27日(月) 古紙センター業務委員会

(pm 1:30) センター会議室

全原連役員会 (pm 3:00)

センター会議室

〔住所・電話 FAX 番号の変更〕

山手支部 篠田商店(代表者 篠田 定義)

新住所: 埼玉県志木市中宗岡5-18-5

電話&FAX 048-476-2267

山手支部 斎藤紙業(代表者 斎藤 美一)

新住所: 文京区水道1-5-25

電話&FAX 03-5684-5283

城北支部(株) 千足(代表者 伊藤 滋)

新電話番号: 049-228-7070

新FAX番号 049-223-5622

〔古紙価格〕

〔東資協の古紙4品の標準売値〕

平成21年2月9日現在

*新聞 7~8円(下降)

*雑誌 4~5円(下降)

段ボール 5~7円(下降)

色上(並) 4~5円(下降)

〔古紙品質調査事業〕

平成21年1月~3月価格

〔新聞 古紙〕 20,000円/トン

〔段ボール古紙〕 18,000円/トン

会議概要〔1月・2月〕

1月度定例理事会

〔平成21年1月13日（火）〕

出席理事 26名 於

組合会議室 P M 4:00

近藤理事長挨拶

昨年は当組合の60周年記念行事を無事終え、新年を迎えました。周年行事が終わったとたん、11月の輸出価格が下落し、国内洋紙大手メーカーの大減産と、大変な市況の変化となっております。裾物3品をはじめ、上物古紙も現在、下落中であります。12月の理事会では、現状を説明した「緊急報告」を作成してほしい旨の要望があり、さっそく広報部で作成し組合員全員と製本工組と東印工組に送付しました。そんな状況の中で、今年はどうこまでいけば下げ止まるのか予想のつかない大変厳しい年になると思います。業界が喚起していきますよう組合活動を通してすすめていきたいと思しますので、今年もよろしくお願い致します。

〔各部報告〕

〔総務部〕 組合会館テナントの（株）ロータスの賃借料について。

〔直納部〕 裾物3品は大幅な価格の改定があり下げ傾向で先行き暗い。

〔品目別市況〕

〔新聞・雑誌〕 新聞は価格が下がり、輸出では新聞、雑誌、段ボールが一桁台半ばの金額で国内外の差が大きくなっている。

〔段ボール〕 原紙価格を上げたばかりで維持する方向の動きである。メーカーにより30～40%の生産調整に入っている。国外は低い価格で推移している。この先、3月頃までは、この状態が続くのか。在庫が増えてきている。

〔上台紙〕 板紙は操短を行っている。価格はあっても発注量が減っている。メーカーは売れる物しか買わない。現在在庫は、輸出するか備蓄するしかないが、輸出は国内との価格差が大きく逆ザヤになっている。使用量が減ってきていることにより需要バランスも狂ってきている。

〔家庭紙〕 各家庭紙メーカーは在庫は持っている。今後、発生が増えていく可能性は少

ない。洋紙メーカーは30～40%の減産をしており、減産分が家庭紙に廻っている。品質について注文を付けてくるケースが多くなってきたおり、今後、品質基準が厳しくなってくるのではないかと。

〔オフィス古紙〕 12月は発生が増えた。洋紙メーカーへ廻る分が家庭紙に流れていて、抑えられないのが現状である。

〔返本雑誌〕 発生は少なく弱含み。出版物は雑誌を中心に減ってきている。今後、苦しい状況が続くのではないかと。

〔集荷部〕

発生が少なく注文も少ない。輸出が順調に出ていかないと、今後の見通しがつかない。価格がさらに下がると、かなりきつい状態になる。「緊急報告」の第二弾が必要になってくるかもしれない。

〔広報部〕

広報誌は、1月新年号を作成準備中で、1月の終わり頃に発送予定。

次の「緊急報告」は、2月～3月の状況を見ても必要に応じて対応する予定である。

〔事業部〕

1月17日(土)の合同新年会について、アトラクションは支部対抗カラオケ大会で、上位者と支部には景品を贈呈する。

〔青年部〕

先週幹事会、新年会を開催した。

〔近代化推進事業委員会〕

経営革新委員会：古紙リサイクルアドバイザーの講習会を1月28日(水)午後6時30分より組合事務局で開催する。

古紙センター

〔関東地区委員会〕

〔平成20年1月20日(火)〕

p m 2:00 於 古紙センター会議室

〔需要動向〕 08/12月 単位トン、

() は対前年同月比、在庫の() は在庫率

〔関東商組32社実績〕

〔新聞〕

| | |
|----|----------------|
| 仕入 | 85、559 (89.5%) |
| 出荷 | 76、272 (82.5%) |
| 在庫 | 20、318 (26.6%) |

〔雑誌〕

| | |
|----|----------------|
| 仕入 | 64、268 (97.7%) |
| 出荷 | 51、479 (84.1%) |
| 在庫 | 19、390 (37.7%) |

〔段ボール〕

| | |
|----|-----------------|
| 仕入 | 141、922 (96.3%) |
| 出荷 | 119、739 (85.5%) |
| 在庫 | 36、134 (30.2%) |

〔関東・静岡実績〕

〔新聞〕

| | |
|----|-----------------|
| 仕入 | 235、737 (85.0%) |
| 消費 | 242、528 (86.4%) |
| 在庫 | 178、435 (73.6%) |

〔雑誌〕

| | |
|----|-----------------|
| 仕入 | 118、213 (89.0%) |
| 消費 | 113、203 (92.8%) |
| 在庫 | 75、579 (66.8%) |

〔段ボール〕

| | |
|----|-----------------|
| 仕入 | 291、107 (86.1%) |
| 消費 | 278、204 (91.1%) |
| 在庫 | 135、133 (48.6%) |

〔業者側コメント〕

〔新聞・雑誌〕新聞は昨年と比べ本文97%。新聞の回収が増える要素が見当たらない。

雑誌については、深刻で1月～3月が93%の見込みで回収が良くなる見通しがつかない。システムそのものを見直さなければならぬ状況になってきているのではないかと。

〔段ボール〕 段ボールは、メーカーが操短し、中国への輸出が減り2ヶ月間で前年比80%の出荷状況。在庫も、いっきに11%から30%に増えている。1年間を通してみると国の成長率と比例しているのではないかと。日本のメーカーも操短し、世界的な需要の減退となつている。

〔メーカー側コメント〕

新聞は、減産と発注カットにより入荷は順調、在庫は潤沢な状況である。回収量は49.8%で印刷、情報用紙の減産が増えている。かなりの勢いで需要が減つている。パルプの価格が半減している。
段ボールの生産量は、前年対比で11月が89%、12月が92～93%、1月が95%。11月～12月は仮需の影響もあるが、実質経済の落ち込みが影響している。今後は在庫を減らし、増えた在庫を調整していかねばならない。12月は操短を見据えた発注抑制の繰り返しで1月は、発注が少ない月でありながら減産、発注抑制、発注カットで苦労している。今年、全体的に前のような状況にもとらないのではないかと。

古紙センター

業務委員会

〔平成21年1月23日(金) pm1:30〕 於

古紙センター会議室

- 〔1〕 平成21年度事業計画(案)について
- 〔2〕 余剰古紙対策事業の結果について
- 〔3〕 紙リサイクル団体表彰状交付(神奈川県製紙原料協同組合)について
- 〔4〕 集団回収実施団体への感謝状交付(関東地区委員会推薦5団体)について
- 〔5〕 古紙の需要・市況動向について

2月度定例理事会

〔平成21年2月3日(火)〕

出席理事 27名 於

組合会議室 PM4:00

近藤理事長挨拶

先月は当組合の新年会、返本加工協同組合を含む各関連団体の新年会があり、また、古紙リサイクルアドバイザーの講習会も始まり、順調に行事が進んできております。

そんな中、市況のほうが昨年末から急降下してきております。関東商組の32社の在庫率は10月までは8%〜9%だったものが11月は

13%、12月は^{30.6}と急増しております。また、東京協組の家庭紙原料の在庫も12月末は前月比で16%、前年比で15%と急増している状況になっております。価格の方も洋紙メーカーが大減産で急落しております。家庭紙向け原料価格がすでに12月から3回下がっており、このまま需給にまかせておくと、さらに下げが見込まれるため家庭紙部会宛てに「要望書」を緊急に作り送付する予定であります。今年もこれから東印工組等を含めた色々な会社もあり、役員改選を含めた総会も控えておりますので、今後ともよろしくご協力のほどお願い致します。

〔各部報告〕

〔総務部〕 組合会館テナントの賃借料について

〔直納部〕 2月23日の静岡県紙業協会家庭紙部会に向け2月9日に集直正副委員長会議、

2月17日に直納部会議を開催し対応を検討する。

家庭紙メーカーは家庭紙原料の価格をすでに3回下げている。このままいくと3月にもまた下げかねない状況である。会議が始まる前

までに、組合より家庭紙部会へ「要望書」を作成し送付する予定である。

市況全般は、国内、輸出とも急変している。国内メーカー、洋紙メーカー共に原料価格の下げと30〜40%の減産。問屋への注文もカットしているため在庫が増え頭を痛めている状況である。

〔品目別市況〕

〔新聞・雑誌〕 新聞は今月から価格がさらに下げた。メーカーは量を買わない、価格は下げる状況である。輸出は少々で弱含みである。雑誌は新聞と同じような状況で弱含みである。

〔段ボール〕 段ボール古紙は、なだれ現象である。

〔台紙〕 発生は減っている。価格は雑誌と同じような傾向にある。使用量も減っている。

〔オフィス古紙〕 発生は、12月は増え1月は落ち着いている。

〔返本雑誌〕 今年に入り発生は少なく、昨年対比で10%の落ち込みである。価格は下がっており、減産の影響が出て苦労している。在庫は、溢れている。

〔集荷部〕 家庭紙のこれ以上の価格修正がないよう願う。製本・印刷関係が逆有償にならないよう今の価格維持してもらいたい。

〔広報部〕

広報誌は、先日、1月新年号の発送を終えた。現在は3月号の作成準備中で、「時の視点」に直納部からの記事掲載を考えている。理事会で承認を得たので5月総会号からの広報誌は、A4の横書き版に変更して作成をする。静岡県紙業協会家庭紙部会宛に「要望書」を作成し送付する予定である。

〔事業部〕

1月17日(土)の合同新年会を無事に終えることができた。支部対抗ラオケ大会では、多少の問題点があったが今回の参考材料としたい。

〔青年部〕

3月1日～2日に青年部と理事との親睦旅行を計画している。2日は親睦ゴルフコンペを開催する予定である。

〔近代化推進事業委員会〕

経営革新委員会：古紙リサイクルアドバイザーの講習会を開催中(1月28日は終了)。2月は5日(木)と20日(金)に組合事務局で開催する。

集直正副委員長会議

〔平成21年2月9日(月)〕

出席委員 13名 於)

組合会議室 P.M.4:00

近藤理事長の挨拶

ここところの急激な古紙変動の影響で集荷業者も混乱しているように感じている。急遽、組合より静岡県家庭紙部会宛てに価格維持についても「要望書」を出したところです。

〔家庭紙原料について〕

家庭紙原料は価格修正が続いている。市況が回復して洋紙が良くなった時に、家庭紙に原料がいくのかどうか、又、製品価格が修正されると家庭紙メーカーは負の循環に戻るのではないかとの懸念がされる。

本来なら洋紙の使用量が多いが、減産による余剰感があり、大手は発注も厳しい状況である。発生が悪い中で減産しており、余剰分が月末在庫として増えているようである。今後、洋紙メーカーが減産を止めた場合、非常に古紙のタイト感が出てくるのではないかと思われる。減産により欠品している製品も出てきており、減産効果が出てきている感もあるようである。

〔集荷部より〕

これ以上、古紙の価格が下がるとコスト面で選別にかかる費用がなくなってしまう。古紙回収業者と産廃業者の兼ね合いもあり品質維持のためにも、家庭紙は製品価格の維持をして欲しい。

〔静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会について〕

家庭紙メーカーには要望書についての内容を検討してもらい、現在の市況内容を説明して会議を進めていく。

古紙センター

〔関東地区委員会〕

〔平成21年2月17日(火)〕

p.m.2:00 於) 古紙センター会議室

〔需要動向〕 09/1月 単位トン、

() は対前年同月比、在庫の() は在庫率

〔関東商組32社実績〕

〔新聞〕

| | | |
|----|--------|---------|
| 仕入 | 68,075 | (86.5%) |
| 出荷 | 71,468 | (87.3%) |
| 在庫 | 16,925 | (23.7%) |

〔雑誌〕

仕入 57、060 (97.1%)
 出荷 59、797 (98.0%)
 在庫 16、653 (27.8%)

〔段ボール〕

仕入 115、673 (94.0%)
 出荷 119、073 (92.5%)
 在庫 32、734 (27.5%)

〔関東・静岡実績〕

〔新聞〕

入荷 218、156 (86.0%)
 消費 232、717 (85.3%)
 在庫 163、874 (70.4%)

〔雑誌〕

入荷 110、552 (89.8%)
 消費 102、835 (88.3%)
 在庫 83、296 (81.0%)

〔段ボール〕

入荷 239、158 (80.5%)
 消費 238、039 (87.3%)
 在庫 136、252 (57.2%)

〔業者側コメント〕

〔新聞・雑誌〕新聞は本文のページ数が減少

している。チラシは前月比96%、前年比88%と高水準で減少が続いている。

雑誌は、12月～4月にかけて毎年、増える時期である。回収は返品雑誌が若干、増えている。出版は3～4%減る傾向で、廃刊の理由は広告が集まらないこと。

〔段ボール〕 段ボールは、メーカーの操短が1月も多くあった。問屋在庫は予定在庫より減少が少なかった。問屋は在庫が一杯で2月も在庫が多い状況である。

〔メーカー側コメント〕

新聞は、入荷に対して使用が出ていかない状況である。在庫は過去、最高の状況である。紙製品の販売が落ちていてDIPの稼働も悪い。

段ボールの悪い原因は、経済的な買い控え。青果物が前年対比で悪い。古紙の1月～2月は大幅な追加減産の影響と発注抑制により悪い。輸出は中国のメーカー在庫が潤沢となっており価格は下がり基調。新聞は一部の投げ売りの影響で価格が下がっている。現在は需要動向がどう変わっていくか模様眺めの状況である。

〔直納部委員会〕

〔平成21年2月17日(火)〕
 出席委員 18名 於) 組合会議室 P M 4:00

〔市況について〕

家庭紙原料は、昨年末から3回に渡り価格修正があった。短期的に見ると行き場がなくなった上物古紙が家庭紙メーカーに行っている。今のところ家庭紙の製品価格は、そんなに下がってはいない。

〔家庭紙について〕

家庭紙原料の価格修正は、製品価格の下落に拍車をかける事になる。荷動きのいいところもあるが製品在庫も少しずつ溜まってきている。家庭紙メーカーでも販売力のあるメーカーは原料価格を修正していいところもある。ここで歯止めをかけてほしいところである。家庭紙原料は3月～4月にかけては各問屋とも在庫を持っているので、タイト感が強くなるには時間がかかるのではないかと思われる。

〔各社の状況〕

〔発生について〕

発生は悪い。産業古紙が20～30%のダウン

〔在庫について〕

上物古紙の在庫が多い。在庫は1月末で前年の3倍くらいある。スペースの問題が出てきている。

〔出荷について〕

発注減が厳しく、納入数量を抑えられている。家庭紙への出荷が20%ほど落ちている。洋紙メーカーの生産待ちの状況。

〔輸出について〕

裾物は輸出に廻している。しかし輸出は採算があわないのでなかなか出せない状況。

〔会議に向けて〕

古紙の発生は20%ほどの減であることの報告。

メーカーからは、発注制限があり思ったほどの納入が出来ない状況である事の説明。

これ以上の家庭紙原料の価格修正が続くと持つて行き場がなくなり、古紙が雑誌化して品質を落とすしてしまうことになる。

限界にきているので原料価格の維持についての説明をしたい。

編集後記

広報副部長 高橋 宏明

昨年より、世界全体的に「景気の悪化」等により我々の古紙業界にもその波が襲ってきました。その波のおかげで国内製紙メーカーも「減産」に次ぐ「減産」また、毎月「価格修正」といった様な今までに経験をしたことがない時を過しています。当組合としても製紙メーカーに対して要望書（お願い）的な文章を出しました。でも、残念ながら「声が届いていない」のが現在の状態だと思っています。出来るだけ速く経済の「景気回復」を願っております。

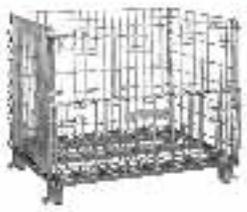
また、今年に入って圧縮梱包機での死亡事故が続いております。構内作業での作業に対して再度「安全確認」を組合員の皆様にお願ひしたいと思います。

また、5月20日（水）上野精養軒にて当組合の総会がございますので組合員の皆様におかれましてはご出席のほど宜しくお願い致します。

メッシュボックスタイプ

ハルナー

「くらしを楽にする」
リターナブル
メッシュコンテナ



1台3役
収納 整理 貯蔵

強度も抜群
メッシュ構造で
軽量の長寿命！
4段積みも可能です。

株式会社ダイフク 0120-887129

DAIFUKU Material Handling and Beyond

